

科目名	世界地誌	単位数	2単位	学期	前期
担当教員	澤口 晋一		実務経験の有無		×
科目区分	カリキュラムマップを表示する	関連するディプロマポリシー			
ナンバリング	X-21-A-1-110010	国際学部A：グローバルな課題に批判的な問題意識をもち、国境を超えた個別具体の問題への認識を深める国際教養および研究手法を体得していること			
授業の目的	前半の2～5回で人類の生存基盤である地球環境を概説する。後半6回以降は国際学部の派遣留学と情報文化学部の海外研修先の国々の地誌を中心に概説する。それらの国々の政治、歴史、文化に地理的な知識を組み合わせることにより深い国際教養を身につけ、さらに異文化理解につなげることを目的とする。なお、授業ではパワーポイントと同じ内容の資料（カラー）を配布し、それにそう形で授業を進めるが、資料は毎回、翌週使用するものを配布し、事前予習が可能となるようにしている。なお、資料は履修者数に合わせて印刷するので、前週に配布された資料を必ず持参のこと。紛失しないように注意。				
学修到達目標	国際教養と異文化理解の土台としての地理的知識の獲得				
実務経験との関連性					

授業計画	
第1回	導入：地理学と地誌学～地理学とはどのような分野か～
第2回	地球システム
第3回	地圏の成り立ち①

第4回	地圏の成り立ち②
第5回	大気大循環
第6回	気候帯の成因と分布
第7回	北米地誌①
第8回	北米地誌②
第9回	北米地誌③
第10回	中国地誌①
第11回	中国地誌②
第12回	中国地誌③
第13回	ロシア地誌①

第14回	ロシア地誌②
第15回	朝鮮半島地誌
第16回	筆記試験

授業時間外の学習	
【予習】時間・内容	2時間（前週配布の資料に基づいた予習）
【復習】時間・内容	2時間（当該週に配布された資料とメモの確認等の復習）

成績評価	
評価基準・方法	成績評価は、定期試験（70%）のほか、小テスト1回（10%）、それに授業外レポート（20%）を実施し、その総合点で行う。なお、授業では毎回コメントペーパーを提出させている。そのなかで、質問や意見で特に必要なものについては、詳しい説明や解説を、翌週15～20分程度時間をとって行うことでより深い理解と興味を引き出すよう進める。なお、授業外のレポート課題については、第10回目前後の授業時において提示する。
フィードバック方法	毎回のコメントカードに記載された質問や意見、感想に答える形でできるだけきめ細かくフィードバックを行う。

アクティブラーニング	
実施の有無	×
実施内容	

教科書/参考書	資料は授業毎に配布するが、地図帳を持参することが望ましい。推薦地図帳：新コンパクト地図帳（二宮書店）
受講上の留意点等	授業中のスマホとPC使用は禁止する。
JABEE	